

緊急連絡先			
医療機関名			
担 当 医			
治療開始日	年	月	日

ジフォルタ®治療を受ける患者さんの

日 々 日 記

監修：がん研究会有明病院

血液腫瘍科 部長 丸山 大 先生

国立がん研究センター中央病院

歯科 医長 上野 尚雄 先生

〔 ____ サイクル目 〕



ムンディファーマ株式会社

®：ジフォルタ及びDIFOLTAはムンディファーマの登録商標です。

JP-FOL-2200012
2022年2月改訂

医療関係者の皆様へご協力をお願い

この冊子は、ジフォルタ®治療に関する説明や、患者さんが日々の生活で注意が必要なことなどを記載しています。医療関係者の方々が患者さんと一緒に確認していただきたいことや、患者さんへのコメントを記入する欄もございます。是非、適正なジフォルタ®治療の継続や患者さんとのコミュニケーションにお役立てください。

はじめに

この冊子は、ジフォルタ®治療を受ける患者さんご自身に、治療前や治療中に気をつけていただきたいことをまとめたものです。
また、治療中の体調について記録するページもあります。
日々の体調管理や、担当医、看護師、薬剤師とのコミュニケーションにお役立てください。

～ジフォルタ®治療を継続するためにお願いしたいこと～

がん研究会有明病院
血液腫瘍科 部長 丸山 大 先生
国立がん研究センター中央病院
歯科 医長 上野 尚雄 先生

再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫の治療は大きく変わろうとしています。

ジフォルタ®は、外来通院による治療が可能なお薬です。
自宅で生活をしながら治療ができます。

安全に、安心してお薬の投与を継続するために、担当医の説明をよく聞き、疑問点、不明点をその都度解消しましょう。

また、ジフォルタ®治療では口内炎ができる可能性があります。治療を長く続けるためには、治療前の歯科検診でお口の健康状態を確認し、治療中もお口のケアを続けていただきます。何か異常があれば、早めに歯科で対処していただくことが大切です。

お薬や治療のことだけでなく、お口のケアに関しても十分にご理解いただき、自分らしい生活を送りながらジフォルタ®治療を受けていただくことを願います。

ジフォルタ®治療における確認事項

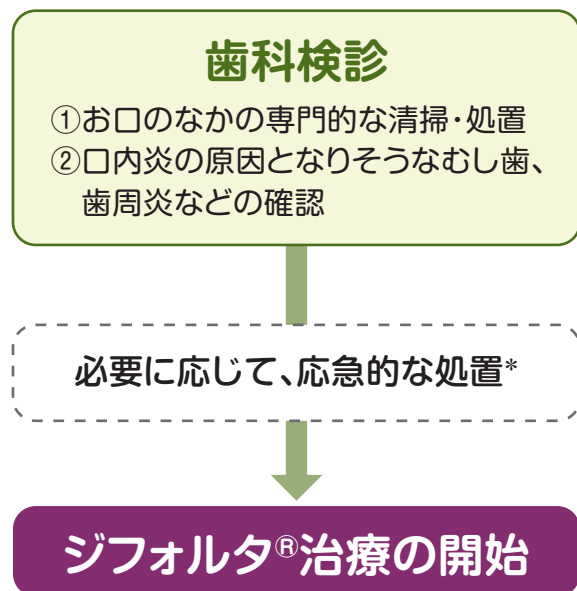
ジフォルタ®治療を行う前に、以下のことをご自身、または担当医、看護師、薬剤師と一緒に確認しましょう。
確認できたらチェック☑しましょう。

	☑	確認事項	ページ
治療前	☐	治療開始前に歯科検診へ	3
	☐	再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)とは	5
	☐	ジフォルタ®とは	7
	☐	ジフォルタ®の作用と効果	8
治療開始前	☐	治療のスケジュール	9
	☐	ビタミン補充療法	10
	☐	ロイコボリン®療法	11
治療中	☐	主な副作用	13
	☐	治療が始まってからの過ごし方	15
	☐	口内炎予防のための、お口のなかの自己点検	17
	☐	お口のケア 大切な3つのポイント	19
	☐	その他の口内炎の予防法	21
	☐	口内炎ができてしまったとき	22
	☐	日々日記をつけましょう	23
	☐	日常生活の注意点	33
	☐	状態にあわせた食事の工夫	34
	☐	相談の窓口について	35
	☐	高額療養費制度	36
	☐	ご自身のことを記載しましょう	37
	☐	歯科受診票	39

治療開始前に歯科検診へ

これから始めるジフォルタ®治療は、お薬によって口内炎ができる可能性があります。治療前からお口のなかを清潔にして、トラブルが起きにくいように準備することが大切です。

治療の予定が決まったら、**治療が始まる前に歯科(がん診療連携登録歯科医 ▶4ページ参照)を受診**してください。歯科では、お口のなかの状態を確認し、専門的な清掃や処置をします。
また、むし歯治療などの歯科治療が必要な場合は、応急的な処置*をしたあと、ジフォルタ®治療を開始します。



*：すべてのむし歯などを治療するわけではありません。

ジフォルタ®治療開始前の歯科検診や、ジフォルタ®治療中にできてしまった口内炎の治療などは、『がん診療連携登録歯科医』のいる歯科医院の受診をおすすめします。

がん診療連携登録歯科医とは、がん患者さんへのお口のケアの指導や、治療ができる歯科医師のことです。
詳細は担当医、看護師、薬剤師にご相談いただくか、お住まいの都道府県歯科医師会にお問い合わせください。

また、歯科受診時には本冊子39ページの歯科受診票に必要事項を記入して持参しましょう。



がん診療連携登録歯科医名簿は、下記にてご覧いただけます。
国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報サービス
「がん診療連携登録歯科医名簿」
https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/medical_treatment/dental/dentist_search.html (2022年2月閲覧)

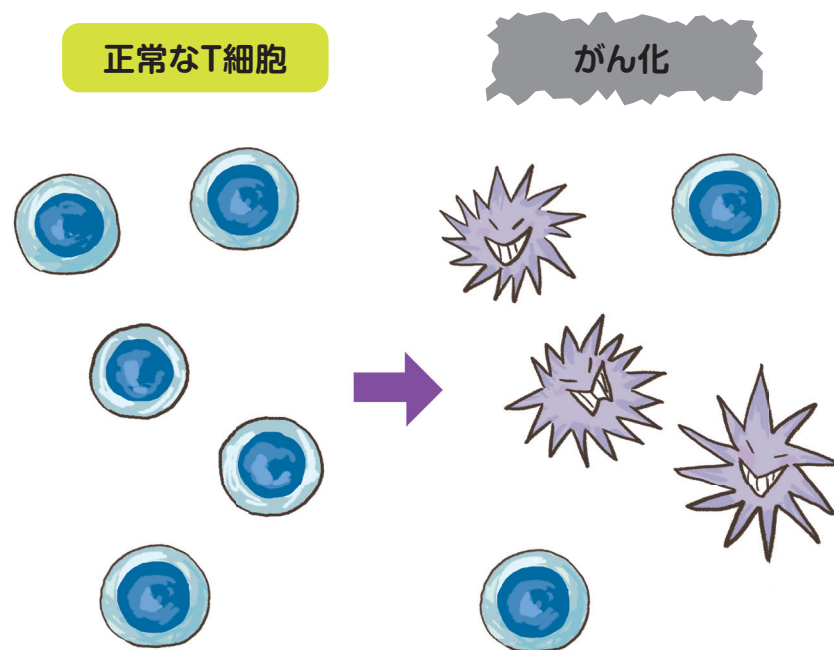
再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)とは

末梢性T細胞リンパ腫(省略してPTCLといいます)は、血液に含まれるリンパ球の一種であるT細胞ががん化する悪性リンパ腫に分類される病気です。

末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)に対してすでに治療が行われたものの、

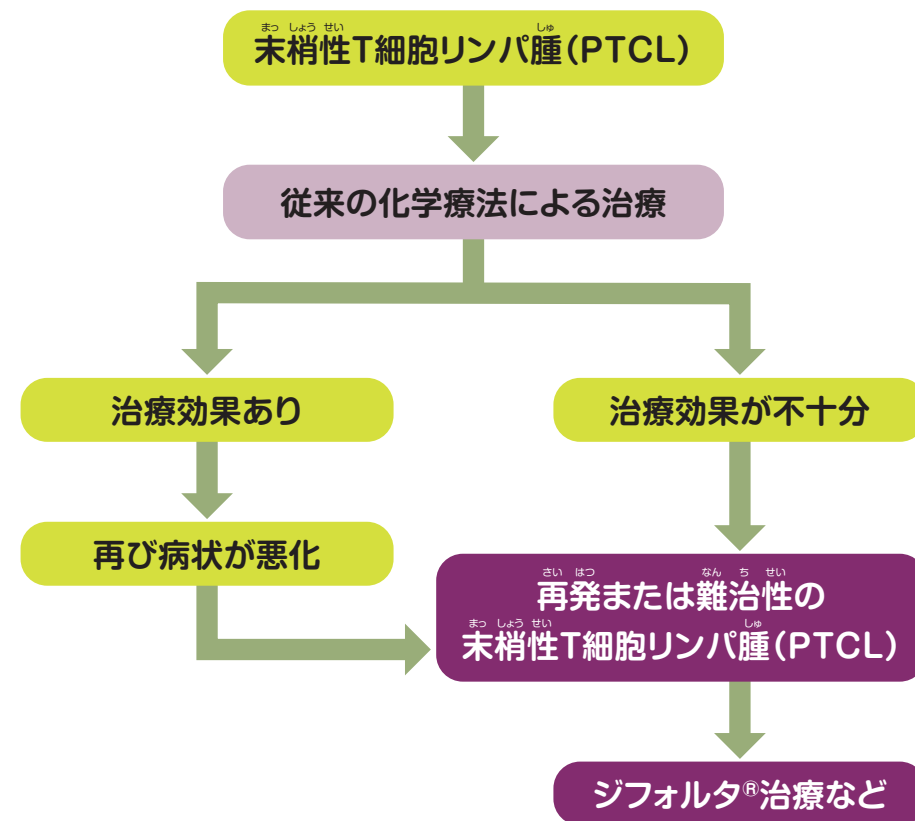
- 治療の効果があつたあとに、再び病状が悪化した状態
- 治療の効果が不十分な状態

を、「再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)」といいます。



再発とは、お薬や放射線などの治療によって、小さくなったがんが大きくなったり、別の場所に同じがんが出現することをいいます。

難治性とは、すでに末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)の治療を受けられた方で、お薬の効果が不十分であったり、一定の改善がみられたものの再び悪化した状態のことをいいます。

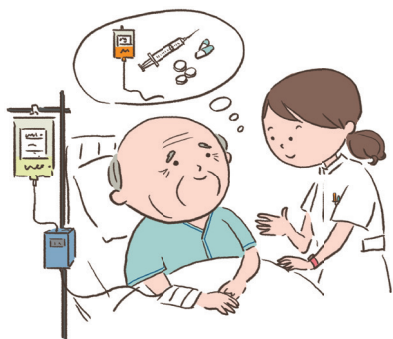


ジフォルタ®は再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)の進行を抑える新しいお薬で、静脈内注射によって投与されます。外来通院で治療を受けることができ、病気の進行や重い副作用がみられない限り継続して投与ができるという特徴があります。

海外ではすでに再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)の治療薬のひとつとして広く使用されています。

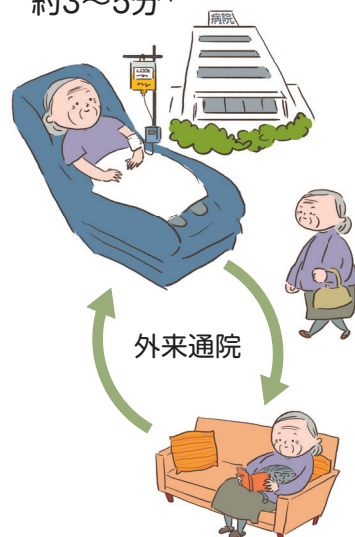
従来の治療

- いくつかの薬を併用することが多い
- 入院が必要なことが多い
- 投与時間は数時間～数日



ジフォルタ®による治療

- ジフォルタ®のみ使用
- 外来通院も可能なことが多い
- 1回あたりの投与時間は約3～5分*



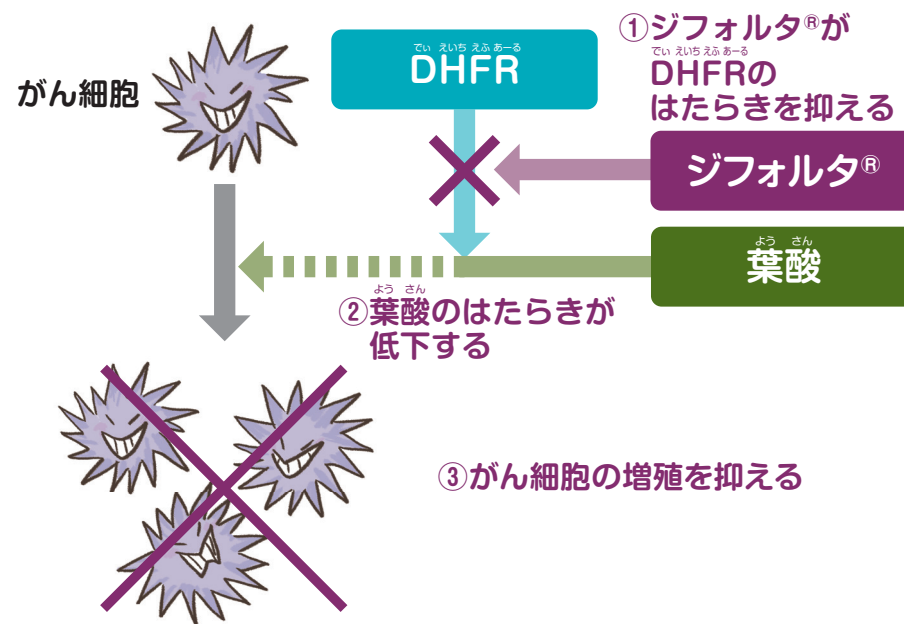
*：医療機関によって、投与方法や投与にかかる時間が異なります。

ジフォルタ®はがん細胞が増えるのを抑えたり、がんを小さくしたりするお薬です。

私たちのからだのなかで細胞が増えるとき、葉酸が重要な役割を果たします。葉酸は、ジヒドロ葉酸還元酵素(省略してDHFRといいます)という酵素のはたらきを必要とします。このDHFRのはたらきを抑えると、細胞が増殖できないことがわかっています。

ジフォルタ®には、DHFRを抑える作用があるため、がん細胞の増殖を止めたり、遅らせたりする効果があります。

ジフォルタ®の作用





治療のスケジュール

ジフォルタ[®]治療は、週1回の^{じょうみゃくないちゅうしゃ}静脈内注射により投与します。**1回の投与時間は約3～5分^{*1}**です。注射時間、方法は担当医の指示に従ってください。

ジフォルタ[®]の注射を1週目から6週目まで続けたあと、7週目はお休みします。これらを1サイクルとして、担当医の判断のもとに繰り返します。

治療が受けられる期間は、特に決まっていません。病気の進行や重い副作用などがみられないかぎり、治療を続けることができます。

ジフォルタ[®]治療のスケジュール



*1：医療機関によって、投与方法や投与にかかる時間が異なります。

*2：担当医により処方異なります。担当医の指示に従いましょう。



ビタミン補充療法

治療を始める**10日以上前**から2種類のビタミンを補充します^{*2}。

これらは、ジフォルタ[®]による副作用(口内炎など)を軽くするために行われます。

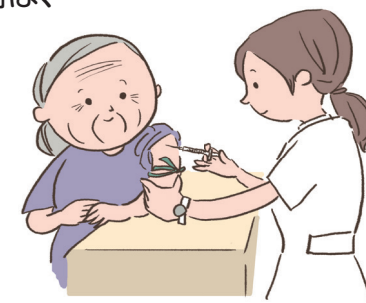
① 葉酸(飲み薬)

- ・自宅**で1日1回、毎日服用**します。
- ・ジフォルタ[®]を休薬する期間(投与7週目)も毎日服用します。
- ・ジフォルタ[®]を最後に投与してから30日間、毎日服用します。



② ビタミンB₁₂(注射薬)

- ・8～10週ごとに1回、ジフォルタ[®]を使用する前に筋肉内注射します。
- ・ジフォルタ[®]治療を続けている間は、ビタミンB₁₂の注射も続けます。

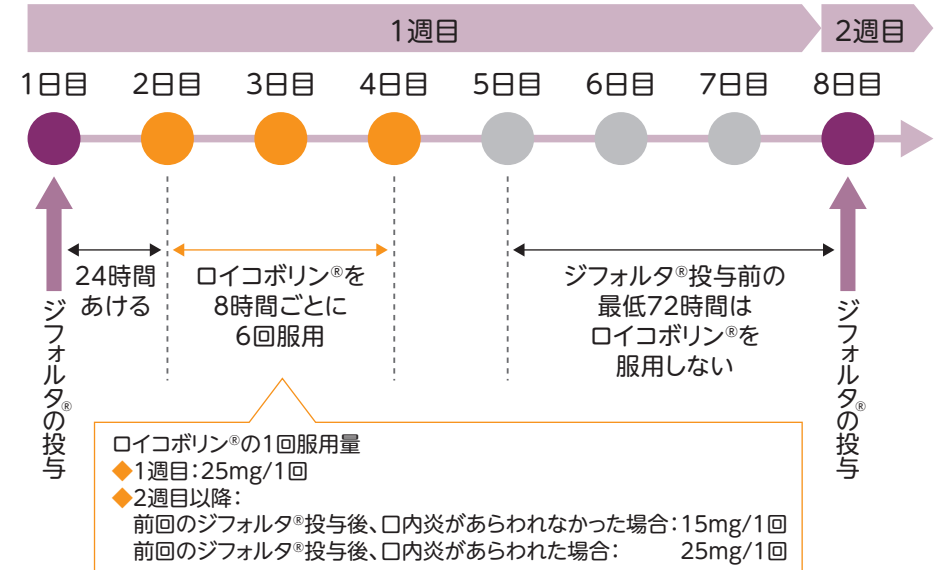


*2：担当医により処方異なります。担当医の指示に従いましょう。

ジフォルタ®による副作用（口内炎など）が懸念される場合には、ロイコボリン®（ホリナートカルシウム）の服用を考慮します*。

- ジフォルタ®の投与後24時間目より、ロイコボリン®として1回25mg（ロイコボリン®錠5mgを5錠）を8時間間隔で6回服用します。
- ジフォルタ®の2週目投与以降は、ジフォルタ®の前回投与時に口内炎があらわれなかった場合は1回15mg（ロイコボリン®錠5mgを3錠）に減らします。減らしたのち口内炎があらわれた場合は、1回25mgに増やすことができます。
- ロイコボリン®の服用から次のジフォルタ®投与までの間隔は72時間以上あけます。
- ロイコボリン®を服用する場合は、葉酸及びビタミンB₁₂の補充はジフォルタ治療開始の7日以上前からとることができます。

ロイコボリン®療法のスケジュール



*：担当医により処方があります。担当医の指示に従いましょう。

ジフォルタ®治療により、次のような副作用の症状がみられることがあります。

これらの症状があらわれた場合は、ただちに担当医や看護師、薬剤師にお伝えください。

● 口内炎 ▶対処法は22ページ参照

症状 お口のなか^はが腫れぼったい、何となくヒリヒリする、痛い
お口の粘膜がざらざらする、赤くなっている
つばを飲み込むとき、のどに引っかかる
熱いものや冷たいものを食べるとしみる
…など



● 骨髄抑制*1

症状 手足に点状出血、あおあざ^はがでやすい、
出血しやすい(歯ぐきの出血・鼻血・生理が止まりにくい)
顔色が悪い、疲れやすい、だるい、
頭が重い、どうき、息切れ
突然の高熱、さむけ、のどの痛み
…など



*1：貧血、血小板減少症、リンパ球減少症、好中球減少症など

● 感染症*2

症状 風邪のような症状、からだ^おがだるい、発熱、さむけ、
咳、息切れ、関節の痛み、嘔吐
皮膚に小さな水疱^{すいほう}がある、
チクチク・ピリピリする
…など



*2：肺炎^{はいけつしやう}、敗血症^{たいけつしやう}、带状疱疹^{たいじやうほうしん}など

● 皮膚障害*3

症状 目の充血、めやに、まぶた^はの腫れ、目が開けづらい
くちびるや陰部のただれ、
排尿・排便時の痛み、のどの痛み
皮膚の広い範囲が赤くなる
高熱(38℃以上)
…など



*3：中毒性表皮壊死融解症^{ちゆうどくせいへいけしりゆうかいしやう}、皮膚粘膜眼症候群^{ひふなんまくがんしやうこうぐん}、多形紅斑^{たけいこうはん}、皮膚潰瘍^{ひふかいよう}など

● 腫瘍崩壊症候群

症状 ジフォルタ®の効果により、たくさんのがん細胞が急速に
壊れた場合に起こります。ただ、患者さんご自身が気づく
ような症状は、あまりありません。
この副作用は、初めてジフォルタ®治療を受けてから、
半日～3日後くらいの間に起こります。
もし、おしっこの量が減ったり、体調がおかしいと感じ
られた場合は、すぐに担当医や看護師、薬剤師にお伝え
ください。

治療が始まってからの過ごし方

1サイクル											2サイクル→
	ジフォルタ®治療開始前 (7～10日以上前から)	1週目							2～6週目	7週目	
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目			
目 標	ジフォルタ®による副作用を最小限にとどめながら、ジフォルタ®治療が継続できる								同様に繰り返す	同様に繰り返す	
	ジフォルタ®の副作用を最小限にとどめるための以下の項目が理解できる ・お口のなかを清潔に保つ必要性 ・ビタミン補充療法の重要性 ・ロイコボリン®療法の検討 ・歯科受診の必要性	・体調に変化があった場合に ・日々日記による体調管理が ・うがい・歯みがきによって ・毎日、葉酸を服用すること ・2日目よりロイコボリン®を	ただちに担当医、看護師、薬剤師に相談できる できる お口のなかを清潔に保つことができる ができる 服用することができる							休み	
ジフォルタ®による治療		・ジフォルタ®の静脈内注射									
ジフォルタ®治療に伴う処置・併用薬	・葉酸の服用(1日1回) ・ビタミンB ₁₂ 注射(8～10週ごとに1回注射) ・ロイコボリン®の服用	・葉酸は毎日服用します ・クライオセラピー ▶詳しくは21ページ参照 (ジフォルタ®投与5分前から) ・ロイコボリン®療法 ▶詳しくは11ページ参照 (ジフォルタ®投与24時間後から8時間ごとに6回)									
検 査	・問診 ・血液検査 ・体重、血圧、脈拍、体温の測定 ・CT、PET(担当医の判断による)	・問診 ・血液検査 ・体重、血圧、脈拍、体温の測定									
歯 科	お口の状態の確認、応急的な処置	お口の自己点検&ケアの励行、必要に応じたお口の状態の確認・処置									
お口の自己点検&ケア	歯科受診し、お口の自己点検&ケアの方法、大切なポイントを教えてもらいましょう	お口の自己点検&ケアを続け ましょう ▶詳しくは17～20ページ参照									
活 動	特に制限はありません										
入 浴	入浴またはシャワーをします	入浴またはシャワーをします シャワーができない場合はからだをタオルで拭くなど、清潔に保ちましょう									
食 事	特に制限はありません	特に制限はありません 口内炎ができた場合は刺激が 少ないものを食べましょう ▶詳しくは34ページ参照									
説 明 導	以下について説明があります ・ジフォルタ®による治療と計画 ・主な副作用 ・日々日記の記入 ・治療中の支援(高額療養費制度など)	以下について確認します ・日々日記による体調管理 ・お口のケア ・副作用									

*：担当医、看護師の指示に従いましょう。

口内炎予防のための、お口のなかの 自己点検

お口のなかは、ジフォルタ®の影響をととても受けやすく、治療開始1週目から口内炎の副作用が起きることがあります。

口内炎の予防や、口内炎の症状を軽くするために、ジフォルタ®治療中は、**お口のなかを毎日自己点検**したり、**ご自身でケア**することがとても大切です。

お口のケアに大切な3つのポイント

▶ 詳しくは19～20ページ参照

ポイント
1

清潔に保つ

歯みがき



ポイント
2

保湿する

うがいの励行
保湿剤の使用



ポイント
3

痛みを
やわらげる

痛みどめの服用



口内炎の観察ポイント

● お口の汚れの有無を確認

- ✓ 歯のすきまや歯肉のさかい目の汚れ
- ✓ 舌の表面の汚れ(舌苔^{ぜつ たい})

● 口臭や味覚の変化を確認

● 粘膜の状態を確認

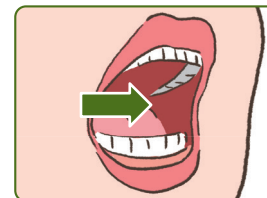
- ✓ 色・乾燥の有無
- ✓ 口内炎ができたら次を確認

● 場所・大きさ ● 痛みの程度 ● 出血の有無

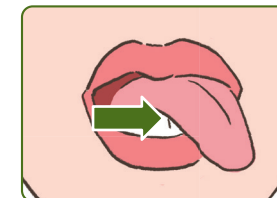
口内炎のしやすい場所



くちびるの裏



口角からほお粘膜



舌の側面から舌の裏

お口のなかに変化が出たら、担当医または看護師、薬剤師に報告しましょう。早くみつけて、専門の歯科医で早期に対応(清掃や痛みをやわらげる処置など)することで、口内炎の悪化を防ぎましょう。

お口のケア 大切な3つのポイント

ポイント
1

清潔に保つ

歯ブラシは、ブラシの部分が小さくて毛がやわらかいものを選びましょう。

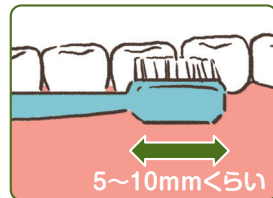
正しい歯のみがき方



毛先を歯の面にあてる



軽い力で動かす



小刻みに動かす
5~10mmくらい

強くみがいて傷がつくと、そこから口内炎が広がる可能性があるので、気をつけましょう。

ポイント
2

保湿する

2~3時間ごとにうがいをし、お口のなかの乾燥を防ぎましょう。

しめることがなければ、うがいは水道水で十分です。

市販の口内保湿ジェルを使用しても問題ありません。

水道水や保湿剤でお口のなかがしみたり、

痛みが出たりする場合は、

生理食塩水でうがいをしましょう。



参考：生理食塩水の作り方とうがい

- ペットボトルに作り置きし、1日で使い切りましょう
[水500mLに対し食塩4.5g(小さじ1杯弱)を溶かす]
- 必ずコップに注いでから、うがいをしましょう

ポイント
3

痛みをやわらげる

痛みがあるときは我慢せずに、担当医に相談して痛みをとることが大切です。

口内炎の痛みによって十分な食事がとれなくなると、治療を乗り切るための体力が維持できなくなったり、治療によって生じた副作用が悪化してしまうこともあるためです。



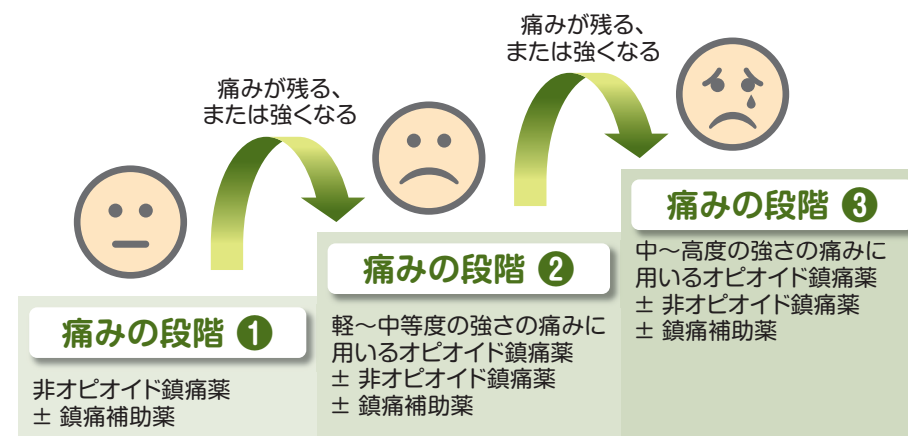
痛みの程度や症状にあわせて、鎮痛薬を使用します。

特に強い痛みに対しては、モルヒネなどの

医療用麻薬(オピオイド鎮痛薬)を使用することもできます。

医療用麻薬(オピオイド鎮痛薬)は、痛みの治療を目的に、適切に使用すれば安全なお薬です。

痛みの度合いによって使用が推奨される鎮痛薬



参考資料：世界保健機関(WHO)方式 三段階除痛ラダー

クライオセラピー

ジフォルタ®の投与開始前(約5分前)から投与終了30分後まで、氷を口にふくみお口のなかを冷やす方法です*。お口のなかを冷やして血管を縮めることで、ジフォルタ®による影響を軽くする可能性があるといわれています。

氷は、水で作った氷だけでなく、砂糖などで少し味をつけたり、シャーベットで代用すると、お口のなかに長時間ふくみやすくなります。

クライオセラピーをするかどうか、どのように準備したらよいかは担当医、または看護師に相談し、指示に従いましょう。



*：氷は医療機関で用意している場合があります。担当医または看護師にご確認ください。

口内炎の症状にはいくつかの段階(グレード)があり、数字が大きくなるほど口内炎の症状が重くなります。

下記の症状がみられたら、担当医、看護師、薬剤師に報告してください。



口内炎の段階(グレード)と対処/治療

口内炎の段階(グレード)	症状	対処/治療
1	- お口のなかの粘膜に赤みが出る - わずかな症状のため、食事への影響はほとんどない状態	うがいの励行
2	- まだら状の潰瘍ができたり、膜ができる - 食べやすく加工した食べ物を飲み込める状態	- うがいの励行 - 保湿剤の使用 - 口腔内の冷却 - レーザー照射による治療
3	- まだら状の潰瘍や膜があわさり、少しの傷で出血する - 十分な食事や水分の摂取ができない状態	- うがいの励行 - 保湿剤の使用 - 口腔内の冷却 - 麻酔薬や鎮痛薬の使用

参考資料：厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル「抗がん剤による口内炎」, 2009年5月, 11~16.

日々日記をつけましょう(見本)

見本を参考に、ジフォルタ®治療中は日々の日記をつけましょう。

治療中 日々日記

今週の目標・やりたいことなど	調子の良い日はできるだけ外に出る ← 1週間の目標をたててみましょう						
日にち	11/16	11/17	11/18				
病院に行く日	◎						
体温(℃)	36.4	36.0	36.4				
体重(kg)	50.0	49.5	50.2				
併用経口薬(葉酸)	○	○	○				
併用経口薬(ロイコボリン®)		○○	○○○				
今日の体調(全体的な体調)	3	2	4				
口の痛み							
さむけ			○				
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み			○				
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他)	お通じ がない						

絵を参考に体調を0～5で記入しましょう

絵を参考に痛みを0～5で記入しましょう

ジフォルタ®を投与した日は「◎」、通院だけの日は「○」をつけましょう

体温・体重は毎日記入しましょう

葉酸を飲んだら「○」、ロイコボリン®を飲んだ回数分「○」をつけましょう(最大3つ)。

体調の気になるところにチェックしましょう。症状があれば「○」をつけましょう

気になったことや、メモしておきたいことを記入しましょう

医療関係者メモ

11/16 毎日葉酸が飲めており、口内炎の症状も今のところみられません。
この調子で引き続き治療を行いましょう。 ○田

日々日記

1 週目

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸)							
併用経口薬(ロイコボリン®)							
今日の体調(全体的な体調)	体調 良い ← 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他)	体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください						

医療関係者メモ



日々日記

2 週目

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸)							
併用経口薬(ロイコボリン®)							
今日の体調(全体的な体調)	体調 良い ← → 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他)	体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください						

医療関係者メモ



日々日記

3 週目

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸)							
併用経口薬(ロイコボリン®)							
今日の体調(全体的な体調)	体調 良い ← → 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他)	体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください						

医療関係者メモ



日々日記

4 週目

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸)							
併用経口薬(ロイコポリン®)							
今日の体調(全体的な体調)	体調 良い ← → 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他)	体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください						

医療関係者メモ



日々日記

5 週目

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸)							
併用経口薬(ロイコポリン®)							
今日の体調(全体的な体調)	体調 良い ← → 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他)	体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください						

医療関係者メモ



日々日記

6 週目

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸)							
併用経口薬(ロイコボリン®)							
今日の体調(全体的な体調)	体調 良い ← → 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他)	体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください						

医療関係者メモ



日々日記

7 週目

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸)							
併用経口薬(ロイコボリン®)							
今日の体調(全体的な体調)	体調 良い ← → 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他)	体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください						

医療関係者メモ



日々日記

予備

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸) ようさん							
併用経口薬(ロイコポリン®)							
今日の体調 (全体的な体調)	体調 良い ← 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他) 体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください							

医療関係者メモ



日々日記

予備

今週の目標・やりたいことなど							
日にち	/	/	/	/	/	/	/
病院に行く日							
体温(℃)							
体重(kg)							
併用経口薬(葉酸) ようさん							
併用経口薬(ロイコポリン®)							
今日の体調 (全体的な体調)	体調 良い ← 悪い レベル 0 1 2 3 4 5						
口の痛み	痛み ない ほんの少し 少し 中ぐらい とても痛い 非常に痛い レベル 0 1 2 3 4 5						
さむけ							
疲れやすさ・だるさ							
のどの痛み							
息苦しさ							
食欲不振							
皮膚のかゆみなど							
メモ(その他) 体調など、次回通院日までに気になったことがあれば記入してください							

医療関係者メモ

- 睡眠や休養を十分とるようにしましょう。
夜の睡眠時間が短いときには、日中お休みできる時間を作りましょう。

- だるい、疲れ、息切れなどがみられた場合は、
急に立ち上がったり激しく動いたりすることは避け、
ゆっくりとひと呼吸をおいてから動きましょう。

- ふらつき、めまいなどの症状がみられた場合は、
椅子に座って、膝より頭を下げるか
無理のない姿勢で安静にしましょう。



- 感染予防のために、手洗い、うがいはこまめにしましょう。
無理のない範囲で、毎日お風呂に入るか、シャワーを浴びましょう。
体調がよくないときは、全身を温かいタオルで拭くなどの方法で、
からだを清潔にしましょう。

- 感染しやすい状態や時期は、外出の際になるべくマスクを着用しましょう。

- 体重の減少がみられた場合、ジフォルタ®による副作用の可能性が
あります。担当医、看護師、薬剤師に伝えましょう。

- 口内炎の予防のために、タバコは控えましょう。

基本的に、食事制限はありません。好きなもの、食事がすすむものを食べましょう。

口内炎ができてしまったときは、お口のなかへの刺激が少ない食べ物を選びます。**辛いもの、熱いもの、すっぱいもの、固いもの、お酒などは控えましょう。**

食べやすいもの

おかゆ、冷奴、茶碗蒸し、
卵豆腐、バナナ、牛乳、
プリン、ゼリーなど



控えた方がよいもの

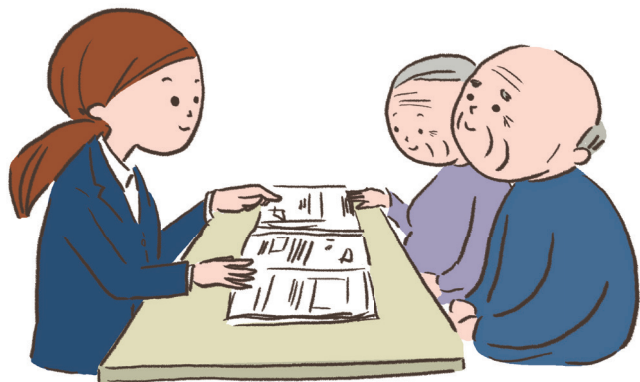
かんきつ類、せんべい、
カレー、熱い汁物、
塩分の強いもの、
パイナップル、キウイ、
お酒など



治療中は、病気や治療のことだけでなく、ご家族のこと、お仕事のこと、治療に伴う経済的なことなど、さまざまな不安があると思います。また、誰に話して良いかわからないときもあるでしょう。

悩みや不安があるときは、病院にいるソーシャルワーカーや各地のがん診療連携拠点病院にある『がん相談支援センター』に相談しましょう。

お住まいの地域のがん相談支援センターは、その施設を受診していない、他の施設を受診中の患者さんやご家族、どなたでもご利用いただけます。



がん相談支援センターの詳細は、下記にてご覧いただけます。
 国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報サービス
 「がんの相談」
<https://ganjoho.jp/public/institution/consultation/index.html> (2022年2月閲覧)

ジフォルト®治療は、『高額療養費制度』が適用されます。

高額療養費制度とは、医療費支払いの自己負担を軽減するための医療保険制度です。病院や薬局で支払う金額が一定の額(自己負担限度額)を超えた場合に、その超えた金額が払い戻されます。

事前に申請を行い、交付された『限度額適用認定証』などを提示すれば、窓口での支払いが一定の金額にとどめられます。

また、70歳以上の高齢者の方は、『高齢受給者証』や『後期高齢者医療被保険者証』の提示で、事前の申請が不要となる場合があります。

年齢や所得の有無によって支払額が異なったり、世帯合算の可否の確認も必要です。

高額療養費制度をご利用になる場合は、必ずご自身が加入されている医療保険や医療機関の相談窓口などでご相談・ご確認ください(ご自身がどの医療保険に加入しているかは、保険証に記載されています)。

患者さんの負担
(1～3割)

保険給付
(7～9割)

自己負担
限度額

高額
療養費

この部分の費用の
負担が軽くなります

ご自身のことを記載しましょう

お 名 前			
生 年 月 日	大 ・ 昭 ・ 平	年	月 日
身 長	cm	体 重	kg
通 院 時 間	時間 分 徒歩 公共機関(電車・バス・タクシー) 車の運転		
ご 家 族	☒ チェックしましょう ☐ ひとり暮らし ☐ ご家族との同居 (同居しているご家族：)		
緊急連絡先 (電話番号)	ご本人： ご本人以外：		

過去にかかった病気

治療中の病気

服用中のお薬

<以前受けたことのある治療>

わかる範囲で記載してみましょう。

☒ チェックしましょう ☐ 化学療法 ☐ その他の治療			
内容	[薬剤名・回数 など]		

期間	年	月	日～ 年 月 日
備考			

☒ チェックしましょう ☐ 化学療法 ☐ その他の治療			
内容	[薬剤名・回数 など]		

期間	年	月	日～ 年 月 日
備考			

歯科受診票

ジフォルタ®治療前・治療中の歯科受診の際に、歯科医にご提示
ください。

お 名 前			
病 名			
治 療 薬 名	ジフォルタ®注射液 20mg 〔抗悪性腫瘍剤(葉酸代謝拮抗剤)〕		
ジフォルタ® 治療開始日	年	月	日
歯科受診日	年	月	日
	年	月	日
	年	月	日
	年	月	日
	年	月	日

✕毛

[illegible]

メモ

メモ
